

はじめに

こんにちは。

本書は、世界中で最も多くのプログラマによって幅広い用途で使われているプログラミング言語である“C++”の入門書です。C言語を大幅に拡張して作られたC++は、規模が大きく学習が難しい言語であるといわれています。

本書は、以下の二点をバランスよく学習できるように配慮した内容となっています。

- ・ C++という言語の基礎
- ・ プログラミングの基礎

これらの違いについて、簡単に説明しましょう。語学の学習にたとえると、前者は『基礎的な文法や単語』に相当し、後者は『簡単な文書を書くことや会話をする』に相当します。

難解な概念や文法を視覚的に理解して学習できるように 254 点もの図表を示していますので、安心して学習に取り組めることでしょう。

例題として示すプログラムリストは 267 編にも及びます。プログラム数が多いことを語学のテキストにたとえると、会話文や例文がたくさん示されていることに相当します。数多くのプログラムに触れてC++のプログラムになじみましょう。

本書の全編が語り口調です。長年の教育経験をもとに、初心者が理解しにくい点・勘違いしやすい点を丁寧に解説しています。私の講義を受講しているような感じで、全 17 章をおつき合いいただければ幸いです。

平成 18 年 8 月
柴田 望洋

本書の構成

本書は、以下に示す章から構成されています。

- 第 1 章 画面への出力とキーボードからの入力
- 第 2 章 プログラムの流れの分岐
- 第 3 章 プログラムの流れの繰返し
- 第 4 章 データ型と配列
- 第 5 章 関数の基本
- 第 6 章 ポインタ
- 第 7 章 文字列とポインタ
- 第 8 章 関数の応用
- 第 9 章 クラスの基本
- 第 10 章 単純なクラスの作成
- 第 11 章 演算子の多重定義
- 第 12 章 配列クラスで学ぶクラスの設計
- 第 13 章 クラステンプレート
- 第 14 章 継承
- 第 15 章 仮想関数
- 第 16 章 抽象クラス
- 第 17 章 多重継承

ひと通り学習が終わった後に、いつでも《調べもの》ができるように、充実した索引が付いています (p.533 ~ p.546)。

いつでも手に届くところに本書を置いていただき、ご愛用いただけると幸いです。

*

本書に示す全ソースプログラムは、以下のホームページでダウンロードできます。

柴田望洋後援会オフィシャルホームページ <http://www.bohyoh.com/>

- 本書に示すプログラムで利用している C 言語のライブラリ (*srand* 関数や *time* 関数など) の解説も上記のホームページでご覧になれます。
- 本書の《索引》の PDF をダウンロードできます。おもちのプリンタで印刷していただくと、《調べもの》が楽になります。